



# 仕 様 書

品 名 TNCP-5FZ

No. 0411195

図 番 J-0413014TT

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5412  
 2 定格電圧 AC 500V  
 3 定格周波数 4 GHz  
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.02.15 本	檜 12.02.15 澤	山 12.02.15 口

項 目	条 件	規 格
1 2 3 構 造 形 状	構造及び形状寸法 材 質 (図番 J-0413014TT) 仕上げ及び表示	異常のないこと
4 電	絶縁抵抗	DC 500V 1000MΩ以上
5 氣	耐電圧	AC 1500V 1分間にて 異常のないこと
6 的	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを越えない方法にて 3mΩ以下
7 特 性	電圧定在波比	周波数 2000MHzまで 1.2以下
8 機	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
9 械		
10 的 特 性	ケーブル引張強度	軸方向引張力 250N以上 異常のないこと
11 性	結合部接続強度	軸方向引張力250Nにて及び接続ナット に2.45N・mのトルクを加えたとき 接続ナットに 異常のないこと
12		

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 02. 15
2		
3		

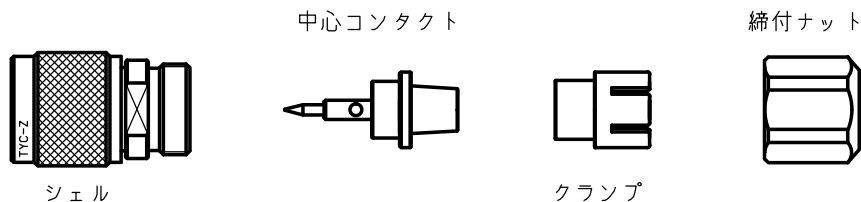
# TNCP-5FZ 取付仕様書

## 部品構成

図番 J-0413014TT

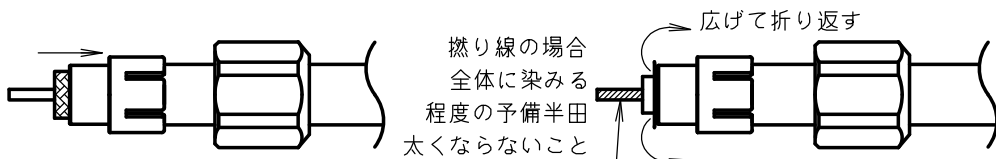


作成	確認
山 '12.02.15 口	山 '12.02.15 本



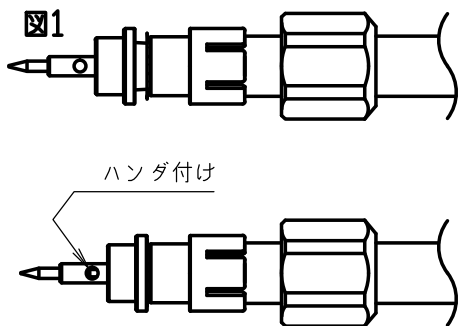
番号	変更・記事	日付
△	社名変更	2012.02.15
△		
△		

1 同軸ケーブルに締付ナットを通し、シース、外部導体、絶縁体を図中の寸法で切りとる。

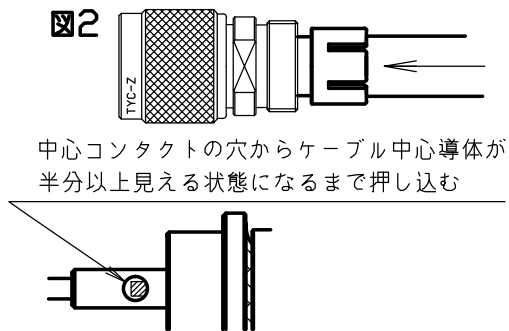


2 同軸ケーブルにクランプを通し、外部導体を広げて折り返す。

注意  
中心導体が撚り線の場合、全体に染みる程度の予備半田をする。  
中心導体の外径が膨らんで太くならないこと。

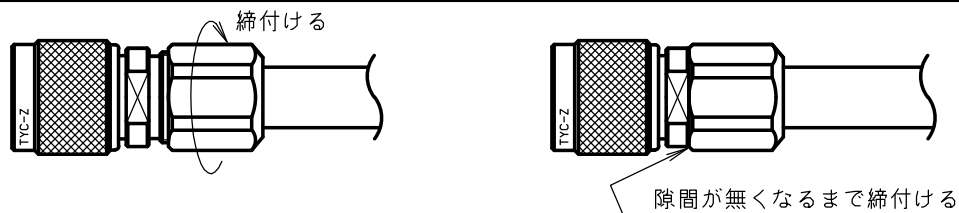


3 同軸ケーブルに中心コンタクトを装着し、ハンダ付けをする。



この時、図1 の位置までは手で挿入し、次に 図2 の様に同コネクタのシェルを用い、中心コンタクトの穴からケーブル中心導体が半分以上見える状態になるまで押し込む。

中心コンタクトの位置が定位置にある事を確認して、中心導体間にハンダ付けを行う。ハンダ付け後に中心コンタクトを引張り、抜けない事を確認する。



4 締付ナットをシェルとの隙間が無くなるまで スパナ等で締め付け、作業を完了する。